

令和7年度「SDGs 達成に向けた市民・事業者・市などの取組に関するアンケート」 集計結果の活用状況

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、事業にどのように活用しているのかなど、集計結果の活用状況をご紹介します。

1 アンケート結果の事業等への活用状況

アンケート結果から、Q1 では SDGs に関する言葉の認知度は高い（80.1%）ものの、Q2 では SDGs に対して、具体的に「何をすればよいのか分からない」（12.5%）、自由意見でも「身近な取組の情報が不足している」と感じている方が一定数いる状況でした。

また、Q5～Q6 の廃食用油回収や、Q7～Q9 の SDGs ロッカー事業について、取組自体は評価されつつも、取り組んでいない理由としては、「回収拠点の場所や利用方法が分からない」、「回収拠点が生活圏内に無い」などが多いことが分かりました。

これらの結果を踏まえ、より市民の行動変容につながるよう、情報提供の強化と事業の改善を図っていきます。本アンケート結果は、SDGs 未来都市としての本市の取組を検討・推進する上での重要な基礎資料として活用していきます。

2 アンケートを実施した感想

本市における SDGs の認知度は高く、既に食品ロス削減や省エネルギー、リユース・リサイクルなど SDGs に貢献する行動を実践している方が多いことが分かりました。また、アンケートとして結果が数字で表れることにより、施策を広めていくにあたっての課題が明確になり、大変参考になりました。今回の結果を踏まえ、今後は「分かりやすく、参加しやすく、効果が実感できる」SDGs の取組を進めていきます。

3 担当部署の e アンケートメンバーへのメッセージ

ヨコハマ e アンケートにご協力いただきありがとうございました。
自由記入欄でも様々な意見をいただくことができ、大変参考になりました。
今後も、市民の皆様のニーズに応えていけるよう、努めていきます。

担当：脱炭素・GREEN×EXPO 推進局循環型社会推進課

ヨコハマ e アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。